

**平成29年度
教育に関する事務の管理及び執行の
状況の点検及び評価に関する報告書**

(平成28年度事業)

平成29年9月

向日市教育委員会

目 次

I	はじめに	1
II	教育委員会の活動状況	2
III	事業評価シート（平成28年度事業）	7
	（事務事業番号）	
1	学力の向上と個性を伸ばす教育の推進	8
2	豊かな人間性をはぐくむ心の教育の推進	12
3	健やかな身体の育成と体力の向上	15
4	家庭・地域社会との連携による特色ある 学校づくり	18
5	教職員の資質能力の向上	20
6	安心・安全な教育環境の充実	22
7	生涯学習環境の充実	25
8	家庭・地域社会の教育力の向上	32
9	子育てを支援する保育環境づくり	34
10	スポーツの振興	37
11	多様性を認め合う社会の実現	39
12	歴史・文化資源の整備と活用	40

I はじめに

1 趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないとされております。

また、点検及び評価を行うに当たり、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとしてされております。

このため、本市教育委員会では、効果的な教育行政の推進に資するとともに市民の皆様への説明責任を果たすため、事務事業の実績について取りまとめ、成果や課題について検証しました。

また、学識経験者である市教育委員会外部評価委員の方のご協力を得て、様々な意見・助言等をいただきましたので、その結果を報告します。

2 点検・評価の対象及び方法

教育基本法第17条第2項に基づく「本市における教育の振興のための施策に関する基本的な計画」と位置づけている「ふるさと向日市創生計画」で定める重点施策や取組事業を踏まえ、主要な12施策46事業を外部評価対象事業とし、委員の方から施策ごとに様々な意見・助言等をいただきました。

(1) 点検・評価委員

氏名	役職等
前坂 あや子	元高知県教育委員会事務局就職アドバイザー
松宮 功	大阪国際大学短期大学部教授

(2) 点検・評価会議開催状況

第1回点検・評価会議（平成29年7月20日開催）

第2回点検・評価会議（平成29年8月7日開催）

第3回点検・評価会議（平成29年8月24日開催）

II 教育委員会の活動状況（平成28年度）

1 教育委員会構成員

役 職	氏 名	就 任 日	任 期 満 了 日
教育長	永野 憲男	平成27年7月1日	平成30年6月30日
教育長 職務代理者	前田 信行	平成14年10月1日	平成30年9月30日
委 員	白幡 節子	平成17年12月10日	平成29年12月9日
委 員	松本 克彦	平成20年10月1日	平成32年9月30日
委 員	流石 智子	平成27年10月1日	平成31年9月30日

(1) 教育長の異動

なし

(2) 委員の異動

なし

2 教育委員会の開催状況 11回

回	開催日	時間	付議案件等
平成28年 第5回	4月26日(火)	午前9時30分～ 10時30分	(報告事項) <ul style="list-style-type: none"> ・向日市立学校の管理運営に関する規則の一部改正について ・向日市立の小学校及び中学校に勤務する府費負担教職員の服務に関する規程の一部改正について ・平成28年度向日市の教育(指導の重点)について ・「向日市における女性職員の活躍の推進に関する特定事業主行動計画」の策定について ・心の相談サポーター事業について ・向日市小中学校子どもの未来づくり支援事業について ・雑誌スポンサー制度について
第6回	5月24日(火)	午前10時00分～ 10時30分	(議案第7号) 向日市議会平成28年第2回定例会の議決を経るべき案件に対する意見について (報告事項) ふるさと向日市創生計画について
第7回	7月5日(火)	午前9時30分～ 10時28分	(報告事項) <ul style="list-style-type: none"> ・向日市議会平成28年第2回定例会一般質問答弁要旨及び総務文教常任委員会の質疑について ・中学校給食について ・史跡長岡宮跡の追加指定について
第8回	8月18日(木)	午前10時00分～ 11時34分	(議案第8号) 平成29年度に使用する教科用図書の採択について (議案第9号) 平成27年度向日市一般会計歳入歳出決算(教育委員会所管分)について (報告事項) <ul style="list-style-type: none"> ・中学校給食について ・第3向陽小学校の受水槽について ・平成28年度中学校総合体育大会結果について ・第13回向日市小学生夏休み作品展について ・第14回向日市中学生美術展及び第10回向日市中学生書道展について ・第13回向日市中学生弁論大会について

第9回	9月27日(火)	午後2時00分～ 3時13分	<p>(議案第10号) 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について</p> <p>(報告事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> 向日市議会平成28年第3回定例会一般質問答弁要旨及び総務文教常任委員会質疑について 京都府いじめ調査(第1回)の結果について
第10回	11月15日(火)	午前10時00分～ 11時43分	<p>(議案第11号) 向日市議会平成28年第4回定例会の議決を経るべき議案に対する意見について</p> <p>(報告事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成28年度保幼小連携教職員研修会について 史跡乙訓古墳群について 史跡乙訓古墳群五塚原古墳の調査について 第2向陽小学校グラウンドナイター修繕について 平成28年度人権擁護啓発ポスターコンクールの入選者について 第5回子ども読書本のしおりコンテストの入賞者について
第11回	12月27日(火)	午前10時00分～ 11時12分	<p>(議案第12号) 向日市中学校給食基本方針及び給食共同調理場建設予定場所について</p> <p>(報告事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> 中学校給食について 向日市議会平成28年第4回定例会一般質問答弁要旨及び総務文教常任委員会質疑について 平成29年度通学区域の弾力化制度実施結果について 第15回小中学生読書感想文コンクール表彰式について 平成28年度「障害者週間」啓発ポスター及び体験作文コンクールについて 平成28年度小論文グランプリについて 平成28年度乙訓ふるさとふれあい駅伝大会結果について

平成29年 第1回	1月24日(火)	午前10時00分～ 10時10分	(報告事項) ・平成29年度向日市の教育の改訂について
第2回	2月8日(水)	午前9時30分～ 10時45分	(議案第1号) 向日市議会平成29年第1回定例会の議決 を経るべき議案に対する意見について (報告事項) ・平成29年度向日市の教育の改訂について ・障がいを理由とする差別の解消の推進に関 する向日市教育委員会職員対応要領につい て
第3回	2月24日(金)	午後2時00分～ 2時45分	(議案第2号) 向日市立図書館管理運営規則及び向日市文 化資料館管理運営規則の一部を改正する規 則について (議案第3号) 向日市立図書館及び向日市文化資料館に勤 務する職員の勤務時間等に関する規程の一 部を改正する訓令について (議案第4号) 平成29年度向日市の教育について (議案第5号) 府費負担教職員人事の内申について (議案第6号) 人事に関することについて
第4回	3月23日(木)	午後5時30分～ 6時47分	(議案第7号) 向日市社会教育委員の委嘱について (議案第8号) 人事に関することについて (報告事項) ・向日市議会平成29年第1回定例会一般質 問答弁要旨及び総務文教常任委員会質疑に ついて ・図書館自動販売機設置事業者の決定につい て

3 教育委員会委員の主な活動

(1) 教育委員会関係行事への参加（教育長のみが出席したものを除く）

- ・小中学校入学式・卒業式
- ・小中学校訪問
- ・小中学校体育大会
- ・小学校水泳記録会
- ・中学生弁論大会
- ・小学生夏休み作品展
- ・中学生美術展・書道展
- ・小学校陸上運動交歓記録会
- ・小中学校公開授業、研究発表会
- ・中学生英語スピーチ大会
- ・乙訓地方小学生駅伝大会
- ・成人式
- ・京都西山高等学校入学式・卒業式
- ・京都府立向日が丘支援学校入学式・卒業式 ほか

(2) 研修・協議会等

- ・乙訓教育委員会連合会教育委員研修会
- ・乙訓教育委員会連合会定期総会
- ・京都府市町村教育委員会連合会定期総会・研修会
- ・近畿市町村教育委員会研修大会

Ⅲ 事業評価シート（平成28年度事業）

施策番号	1
施策名	学力の向上と個性を伸ばす教育の推進

<p>施策の目指す姿</p> <p>基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得をはじめ、知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等や主体的に学習に取り組む意欲・態度を統合した「質の高い学力」を育成するため、指導方法・指導体制を工夫・改善し、個に応じた指導の充実に努める。</p>
<p>施策の方向性</p> <p>① 学習指導の充実</p> <p>② 特別支援教育の充実</p> <p>③ キャリア教育の充実</p> <p>④ 現代的課題に対する関心を高め、理解を深める教育の充実</p> <p>⑤ 校種間連携の強化</p>

事業名	研究指定	施策の方向性	①
事業概要 実績	○国立教育政策研究所教育課程研究指定校・向日市教育委員会指定 第2向陽小学校 「みんなで学び合い!!」 ～児童を「授業で」「環境で」「協働で」育てる算数の実践へ～ (授業研究・学習環境の整備・学力の充実等) 研究発表 11月10日 約150人参加		
	勝山中学校 「自己有用感を高め、より良い生き方についてともに考える道徳教育の推進」 ～教科・領域からの積極的アプローチと生徒が主体的に取り組む道徳の時間の工夫・改善～ (授業研究・学習環境の整備等) 公開授業 11月17日 約100人参加		
	○京都府教育委員会指定「学力向上システム開発校」・向日市教育委員会指定 第3向陽小学校 「自分の考えを進んで表現できる子どもの育成」 ～教科のねらいにつながる言語活動を通して～ (授業研究・学習環境の整備・学力分析等) 研究発表 11月8日 約65人参加		
	第4向陽小学校 「自分の考えを持ち、自分から人と関わろうとする児童の育成」 (授業研究・学習環境の整備等) 公開授業 1月26日 約65人参加		
	○京都府乙訓教育局指定「OASIS校」・向日市教育委員会指定 向陽小学校「伝え合う」「学び合う」「高め合う」 ～自分の言葉で表現する児童の育成～		

	(授業研究・学習環境の整備等) 公開授業 1月27日 約100人参加 寺戸中学校「自ら学ぶ意欲と自ら考える態度を育てる授業・評価」 (授業研究・学習環境の整備等) 公開授業 11月16日 約90人参加
担当課	学校教育課

事業名	学力テストの実施	施策の方向性	①
事業概要 実績	<p>○各種学力テストを実施し、児童生徒の学習の定着状況を把握するとともに結果分析から指導改善につなげた。</p> <p>(向日市) 標準化された学力テスト (CRT) 国語、算数・数学、理科、社会、英語 小学校4年生～中学校3年生</p> <p>(京都府) 学力診断テスト 小学校4年生、中学校1年生、2年生 (文科省) 全国学力・学習状況調査 小学校6年生、中学校3年生</p>		
担当課	学校教育課		

事業名	特別支援教育の充実	施策の方向性	②
事業概要 実績	<p>○向日市教育支援委員会において、小中学校に在籍又は就学予定の幼児、児童及び生徒について、障がい等に配慮した適切な就学について協議し、相談及び指導を行った。</p> <p>相談件数 95件 (就学前32件、小学校48件、中学校15件)</p> <p>○各校の状況に応じ、特別支援教育支援員を配置し、教育上特別の支援を必要とする児童生徒に対する支援を行った。</p> <p>全小中学校に配置 小学校18人、中学校4人</p> <p>○就学奨励費を支給し、特別支援学級に就学する児童生徒の保護者の経済的負担軽減を図った。</p> <p>給付内訳 (給付対象人数：小学校48人、中学校19人) 学用品等購入費 (小学校48人、中学校19人)、給食費 (小学校48人) 校外活動費 (宿泊あり・宿泊なし) (小学校8人・48人、中学校0人・7人) 修学旅行費 (小学校9人、中学校4人) 体育実技用具費・柔道 (中学校2人) 新入学児童生徒学用品費等 (小学校9人、中学校5人)</p>		
担当課	学校教育課		

事業名	職場体験	施策の方向性	③
事業概要 実績	<p>○望ましい職業観や勤労観等を身につけさせるため、市の「総合的な学習」補助金や府教育委員会補助事業「KYO 仕事・文化体験活動推進事業」等を活用し、介護や農作業等の体験活動や地域社会における職場体験を実施</p> <p>小学校：農作物の栽培、保育所や幼稚園での幼児との交流、介護体験 等 中学校：市内の事業所等における2年生の職場体験 113事業所</p> <p>勝山中学校 4日間（11月） 西ノ岡中学校 4日間（10～11月） 寺戸中学校 4日間（10～11月）</p>		
担当課	学校教育課		

事業名	現代的課題への関心	施策の方向性	④
事業概要 実績	<p>○法やルールに関する教育（京都府教育委員会指定） 寺戸中学校「自分を大切にするとともに、他者を大切にすることの育成」 ・生徒が、決まりやルールの在り方について考え、決まりを守るのは、「決まりやルールを納得や合意を経て、自分たちの生活や権利が守られている」と意識するようになった。</p> <p>○生命のがん教育推進プロジェクト事業（京都府健康福祉部） 向陽小学校 6年生（94人） ・がんに関する知識を医師から直接学び、健康的な生活習慣の大切さを理解するとともに、命の大切さや、生きることの素晴らしさに気づいた。</p>		
担当課	学校教育課		

事業名	校種間連携の充実	施策の方向性	⑤
事業概要 実績	<p>○各中学校校区（勝山中、西ノ岡中、寺戸中）において、学力向上を目的とした取組や児童生徒間の交流を実態に応じて実施した。</p> <p>・9年間を見通したカリキュラム編成 ・合同授業研究会 勝山ブロック（11月、1月）、西ノ岡ブロック（11月、2月） 寺戸ブロック（8月、11月） ・部活動体験 向陽小6年（94人）、5向小6年（96人）、2向小6年（112人） 3向小5・6年（10人） 4向小5・6年（20人）</p> <p>○幼児期の教育と小学校教育との円滑な接続が図られるように、教職員の交流や幼児と小学生の交流等を実施した。</p> <p>保幼小交流会（各小学校） 小学校1年の授業参観、懇談会 保幼小連携教職員研修会（平成28年10月26日） 69人参加（小学校20人、保育所11人、幼稚園38人）</p>		
担当課	学校教育課		

施策の成果と課題

【成果】

○学力の向上と個性を伸ばす教育の推進に向け、各学校が、学校の実態に合わせ、研究テーマを設定し、研究を深めるとともに、公開授業や授業研究会を行い、市内小中学校の教員の参加により、成果を波及している。

○市教育支援委員会では学校や保育所、幼稚園、保護者と連携して、一人一人に応じた児童生徒の支援の在り方について相談できた。また、各小中学校では、特別支援教育支援員による児童生徒支援の充実が図られた。

○各学校の特色を生かした体験活動や職場体験など発達段階に応じたキャリア教育を進めることで、勤労することの喜びや大変さなどに気付かせるとともに、規範意識や社会性を身に付けさせることができた。

○校種間連携の取組が、各小中学校の状況に応じて実施できた。また、指導者による保幼小合同（乙訓）の研修会を開催し、異校種間での教育目標の違いや同じ方向性があることに気づくことができた。

【課題】

○就学前から就学後の支援について、支援ファイルなど福祉関係機関とも連携して進めていく必要がある。

○各学校は、児童生徒が体験の時間だけでなく、体験活動前後の学習を計画的に進め、体験を児童生徒の職業観や勤労観により一層つなげる必要がある。

○校種間連携の取組を連続した学びやスムーズな入学につながるよう充実させる必要がある。

外部評価委員評価及び意見等

○研究するにあたり、児童生徒が興味を抱く内容で取り組んでいることは評価できる。

また、各学校で目的を持ち、取り組むことは、教員、児童生徒に良い影響を及ぼし、向日市全体の教育の向上につながる。児童生徒の学びの意欲を引き出すよう、今後も継続して取り組んでほしい。

○職場体験について、地域で働くことは自分の市を知る良い機会であり、評価できる。

今後も道德教育やキャリア教育等と連携を図って取り組んでほしい。

○保育所、幼稚園、小学校、中学校の教職員で話す機会をこまめに設け、入学時のケア等で連携を図ってほしい。

施策番号	2
施策名	豊かな人間性をはぐくむ心の教育の推進

<p>施策の目指す姿</p> <p>学習指導要領に規定された公共の精神、伝統や文化の尊重などを踏まえ、伝統や文化に関する教育や道徳教育、体験活動を充実させるとともに、家庭、地域社会と一体となって、人間として、また社会の一員として主体的に生きるための基本となる資質や能力である豊かな人間性や社会性の育成を図る。</p>
<p>施策の方向性</p> <p>① 道徳教育の充実 ② 人権教育の推進 ③ 生徒指導の充実 ④ 芸術・文化活動の充実</p>

事業名	道徳の時間実践交流	施策の方向性	①
事業概要 実績	<p>○授業改善に生かすため、各校の実践交流を通して、児童生徒の心に響き、道徳的価値の自覚を促す指導方法などについて研修を実施した。</p> <p>参加者数 18名（各学校教務主任及び道徳教育推進教師）</p> <p>日時 平成29年2月9日（木）14：30～17：00</p> <p>研究授業 第6向陽小学校 第4学年</p> <p>資料名 「大きな絵はがき」（出典：道徳4『ゆたかな心で』東京書籍）</p> <p>指導する内容項目 2－（3）信頼友情</p>		
担当課	学校教育課		

事業名	人権教育	施策の方向性	②
事業概要 実績	<p>○あらゆる人権問題に対し、豊かな人権感覚を持ち、幸せな社会生活を営めるよう、人権意識の高揚につながる取組を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権教育に関わる授業 小学校103.7時間 中学校61.7時間 （全学年、年間合計時間の平均） ・参観、公開授業 全小中学校で実施 各1回 ・教職員研修（同和問題） 全小中学校で実施 12講座（小学校8講座、中学校4講座） 		
担当課	学校教育課		

事業名	教育相談等	施策の方向性	③
事業概要 実績	<p>○適応指導教室の設置</p> <p>市内の不登校の児童生徒を対象に教育相談に応じたり、集団への適応力を培うための指導を行ったり、児童生徒の主体性を育成し、早期に学校へ復帰できるよう、適応指導教室「ひまわり広場」を設置した。</p> <p>指導員 3人</p> <p>125日開設（水・木・金）、通室児童生徒10人（小学校5人、中学校5人）</p> <p>○教育相談事業の充実</p> <p>来所による相談、電話による相談、学校への巡回相談、家庭訪問による相談を実施した。中でも学校への巡回相談はニーズが高く、巡回相談担当の臨床心理士を1名増加した。</p> <p>（各相談件数）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来所教育相談件数（市役所、天文館等）延べ323件 ・電話教育相談件数 延べ33件 ・学校への巡回教育相談（9校） 延べ243件 ・家庭訪問による教育相談 延べ98件 <p>○心の相談サポーター事業</p> <p>不登校の未然防止や早期解決を図るため、登校できるが教室には入りにくい不登校傾向の児童生徒を対象に、学習支援や教育相談等を行い、生徒の悩み、不安、ストレス等の解消を図り、心にゆとりを持てるような環境の提供を行った。</p> <p>臨床心理学を学ぶ大学院生 8人</p> <p>配置校 小学校3校、中学校1校（各校週2日）</p> <p>対応件数 延べ737件</p>		
担当課	学校教育課		

事業名	子ども未来づくり支援事業（体験活動）	施策の方向性	④
事業概要 実績	<p>○児童生徒の体験活動</p> <p>各学校が、それぞれの学校の実態や地域の特色を踏まえ、伝統や文化についての児童生徒の体験的な学習や、知的好奇心を育む学習などを実施した。</p> <p>（目的別体験活動件数）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力向上（教科や領域など） 10件（小学校8件、中学校2件） ・体験活動（農業、栽培など） 14件（小学校11件、中学校3件） ・伝統文化（落語、狂言など） 25件（小学校21件、中学校4件） ・健康安全（食、安全など） 11件（小学校6件、中学校5件） 		
担当課	学校教育課		

施策の成果と課題

【成果】

○全小中学校で、人権学習の実施及び参観授業による啓発ができた。また、全小中学校で同和問題についての教職員研修を行い、人権尊重の意識の高揚が図れた。

○支援を必要とする児童生徒や保護者に対する教育相談や不登校の未然防止に向けた支援活動を行うことで、不登校傾向であった児童が心の相談サポーターの支援日に合わせて登校することができた。

【課題】

○「特別の教科 道徳」の実施に向け、指導と評価について理解促進を図る必要がある。

○新学習指導要領の実施に向け「プログラミング教育」など、新たな教育課題について理解を深める必要がある。

外部評価委員評価及び意見等

○教育相談については、各事業で指導員、臨床心理士、臨床心理学を学ぶ大学院生が、うまく機能しており、質の高い支援を行っているとの評価できる。

今後、教員間で更なる相談内容の情報共有を行い、教員全体で児童生徒の課題に対応できるようにし、一人の教員が問題を抱え込み過ぎないように取り組み、支援の質を維持して継続してほしい。

○子ども未来づくり支援事業（体験活動）については、各学校で独自の活動ができる仕組みは評価できる。今後も学校と連携を図り、より良い取組を行ってほしい。

さらに、児童生徒を通して、活動が地域に伝わっていくことを期待する。

○道徳の評価については、保護者への説明、理解が必要である。

市教育委員会、教員、専門家で連携し取り組んでほしい。

○人権教育は継続して、計画的に取り組む必要がある。

施策番号	3
施策名	健やかな身体の育成と体力の向上

<p>施策の目指す姿</p> <p>明るく生きがいのある生活を営むために、生涯を通じて体育・スポーツ活動に親しむことができる能力や態度を育てるとともに、現代的な健康課題への理解を深め、健やかな身体の育成を図る。</p> <p>施策の方向性</p> <p>① 体力・運動能力の向上 ② 健やかな身体の育成 ③ 食育の推進</p>

事業名	新体力テストの実施	施策の方向性	①					
事業概要 実績	<p>○各校では新体力テストを5月に実施した。</p> <p>(実施種目) 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅跳び、ボール投げ(計8種目)</p> <p>【8種目のうち、全国平均を下回る学年の多い種目を継続観測】</p>							
	平成28年度 新体力テスト 結果		握力 (Kg)	20m シャトルラン (回)				
	項目	年度	向日市	京都府	全国	向日市	京都府	全国
	小6 男子	28年度	19.01	19.11	20.26	55.78	66.55	64.74
		27年度	19.00	19.07		62.94	66.54	
	小6 女子	28年度	18.88	18.76	19.73	45.64	53.01	50.75
		27年度	18.72	18.31		48.17	53.00	
	中3 男子	28年度	31.79	33.74	35.12	97.87	96.93	96.03
		27年度	32.00	34.89		101.47	97.56	
	中3 女子	28年度	23.03	25.16	25.50	61.46	64.51	61.26
27年度		22.27	25.52	62.07		62.16		
※全国平均値＝前年度平均値(未発表のため)								
担当課	学校教育課							

事業名	健康に関する授業	施策の方向性	②
事業概要 実績	<p>○全小中学校で薬物乱用防止教室を実施した。（6月～3月）</p> <p>向陽小 5・6年（2月）、2向小 5・6年（1月） 3向小 6年生（12月）、4向小 6年生（1月） 5向小 4・6年生（7月）、6向小 6年生（3月） 勝山中 1年生（6月）、2年生（7月）、3年生（7月） 西ノ岡 全学年（6月）、寺戸中 3年生（3月）</p>		
担当課	学校教育課		

事業名	食育・学校給食運営	施策の方向性	③
事業概要 実績	<p>○小学校では、農作物栽培をし、給食等で活用した。</p> <p>向陽小（米づくり、さつまいも）、2向小（米作り、さつまいも、大根）、 3向小（米作り、さつまいも、大根）、4向小（さつまいも、大根）、 5向小（さつまいも、冬瓜）、6向小（大根、さつまいも）</p> <p>○給食実施児童数 3,080人（H28.5.1現在） 米飯給食週4回実施 スチームコンベクションオープン、二槽及び移動シンク等、給食備品の整備 により、給食献立内容の充実を図った。</p> <p>給食室害虫駆除、栄養教諭等保菌検査、食材検査、専門家による研修等を実施するとともに、給食調理室にエアコンを導入し、衛生管理の徹底を図った。</p> <p>○食物アレルギーを有する児童へ医学的根拠に基づいた適切な対応ができた。</p> <p>食物アレルギー 162人（有症率5.2%） （そのうち、除去食対応については、83人）</p> <p>○向日市中学校給食基本方針を策定し、給食共同調理場設置場所を西の岡中学校に決定した。</p> <p>また、中学校給食に向けた基本計画等の作成に着手した。</p>		
担当課	学校教育課		

施策の成果と課題

【成果】

- 全小中学校で、薬物乱用防止教室に関わる授業を実施し、薬物に対する正しい知識と対処について理解を深めることができた。
- 全小学校で、栽培活動と食育を関連させた指導を実施できた。
また、安心・安全で魅力ある給食を提供することができた。
- 施設の改善や備品の更新などを行い、給食室の衛生環境の維持向上を図ることができた。
- 中学校給食実施に向けた中学校給食基本方針策定等の準備を進めることができた。

【課題】

- 握力及びシャトルランは、多くの学年で男女ともに全国平均を下回っており、小学校では、低学年からの鉄棒や遊具を使用した遊びを積極的に取り入れ、中学校では、体育授業のはじめに基礎体力作りをするなど、体力向上に向けての取組を引き続き行う必要がある。
- 1学期中の夏季休業前に薬物乱用防止教室を実施し、非行防止を図る必要がある。
- 策定した中学校給食基本方針等に基づき、中学校給食供用開始に向けた諸準備を進めるとともに、実施にあたっての課題について、各中学校と協議する必要がある。

外部評価委員評価及び意見等

- 薬物の恐ろしさを児童生徒に教えるのは、非常に重要であり、薬物乱用防止教室の開催は評価できる。
今後も予防の観点から継続して取り組んでほしい。
- 給食は、児童が、何を、いつ、どこで、どのように食べているのか、もしくは食べていないのか把握する良い機会であり、その情報を食育の指導に活用してほしい。
児童の食の環境を整備することにより、体力向上にもつながることを期待する。

施策番号	4
施策名	家庭・地域社会との連携による特色ある学校づくり

<p>施策の目指す姿</p> <p>保護者や地域社会との連携を促進し、家庭・地域社会と一体となった教育活動の充実を図り、特色ある学校づくりを推進する。</p>
<p>施策の方向性</p> <p>① 開かれた学校づくりの推進</p> <p>② 学校改善に生かす学校評価の充実</p>

事業名	ふるさと学習	施策の方向性	①
事業概要 実績	<p>○小学校では、生活科や社会科とも関連させ、総合的な学習に取り入れた。</p> <p>1年生・2年生：「向日市にふれる」町探検を通じた学習</p> <p>3年生・4年生：「向日市を知る」特産物（なす、たけのこ）や校区内の特色についての学習、簡単な歴史について学習</p> <p>5年生・6年生：「向日市を学ぶ」農作物栽培や歴史・文化について学習</p> <p>○中学校では、総合的な学習の時間の中で学習した。</p> <p>勝山中 1年生：「まちづくり、伝統文化、地域経済、防災」の中から選択して調査・研究した内容をまとめ、向日市の未来についての考えをまとめた。</p> <p>西ノ岡 1年生：「向日市の特色」についての調査・研究や「向日市の特産品（竹）」についての体験活動を通して、向日市の未来についての考えをまとめた。</p> <p>3年生：向日市の歴史や特産品などから選択し、「向日市のアピールポスター」を作成した。</p> <p>寺戸中 2年生：「向日市の歴史や現状」について調査・研究し、向日市活性化プロジェクト案を作成するなど、向日市の未来についての考えをまとめた。</p>		
担当課	学校教育課		

事業名	学校評価	施策の方向性	②
事業概要 実績	<p>○自己評価 各学校は、評価計画を作成し、改善した教育活動ができるように創意工夫をした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校、学年、学級、校内分掌担当での評価を実施（年2～3回） ・児童生徒、保護者、学校評議員からアンケート調査を実施（年1～3回） ・評価と調査を基に教育活動を捉え直し、改善策を明確化 <p>○自己評価の公表 各学校は、自己評価の結果と改善した教育内容の方向性を学校だよりで周知</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校経営の方向性について ・授業づくりの視点について など 		
担当課	学校教育課		

施策の成果と課題

【成果】

○全小中学校で「ふるさと学習」が定着し、地域の特色に合わせたカリキュラムを実施することにより、児童生徒は、郷土である向日市について理解を深めたり、興味関心を高めたりできた。

【課題】

○新学習指導要領の実施に向け、総合的な学習の時間のカリキュラムの新編成や再編成をする必要がある。

外部評価委員評価及び意見等

○ふるさと学習については、内容が濃密で質も高く、児童生徒がふるさと向日市に愛着と誇りを持つことにつながるものとして高く評価できる。

今後、形骸化しないよう継続してほしい。

また、地域の方と教員が接する機会も多く、地域と学校の結びつきという観点からも評価でき、今後も取り組んでほしい。

○学校評価については、点数の他に全体でどのように推移したのかにも注目する必要がある。

評価の低かった事項は、改善に努められており、今後もこの流れで継続してほしい。

学校からの情報発信として、活用している学校だよりの内容も充実しており、保護者との連携が図られている。

施策番号	5
施策名	教職員の資質能力の向上

<p>施策の目指す姿</p> <p>京都府教育委員会「教師力向上のための指針」を踏まえ、教職員一人一人が、研修等により自己の資質能力の向上を図るとともに、培った実践力を教育活動に積極的に生かし、組織としての学校の教育力を高め、計画的・継続的な教育実践に取り組む。</p>
<p>施策の方向性</p> <p>① 教職員研修の充実</p> <p>② 教職員評価の実施</p>

事業名	子ども未来づくり支援事業（教職員研修）	施策の方向性	①
事業概要 実績	<p>○市教委で全校の教職員対象の教職員研修や幼保小連携教職員研修を実施し、授業改善につながった。</p> <p>【研修テーマ】</p> <p>①平成28年5月11日実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 道徳教育（79名） ・ 人権教育（82名） ・ 不登校児童生徒への対応（89名） <p>②平成28年8月22日実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 外国語活動及び外国語指導（50名） ・ ユニバーサルデザインを取り入れた授業づくり（93名） ・ 児童生徒及び保護者への対応（79名） <p>③平成28年10月26日実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児期から小学校への円滑な接続（20名） <p>○各学校において、喫緊の教育課題や学校のニーズに沿った教職員研修を実施</p> <p>【主な研修テーマ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 言語活動の充実のための授業改善 ・ 興味・関心・意欲を高める授業改善 ・ 人権教育及び道徳教育 ・ 児童生徒への支援（児童生徒理解・特別支援教育 等） <p style="text-align: right;">（計 小学校35件、中学校9件）</p> <p>○退職教員による、若手教員（おおむね採用後2～5年目の教員）の指導力向上のための支援（7校 延べ35回）</p> <p>【主な支援内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業参観、授業、学級経営についてのアドバイス ・ 教材づくり 		
担当課	学校教育課		

施策の成果と課題

【成果】

○市教委主催の全校教職員対象の研修を開催するとともに、各学校においても学校のニーズや現代的教育課題に沿った研修の場を設けることができた。

○市教委から退職教員を派遣し、若手教員の指導力向上に取り組むことができた。

【課題】

○教育に対する期待が多様化していく中で、研修を通じて、教育課題への対応方法について市全体で共有するとともに、学校内部で学び合う機会を積極的に設けることで、指導力を高め合い、学校のチーム力をより一層高め、引き続き、特色ある学校づくりに努める必要がある。

○大量退職・大量採用の中にあって、指導力の継承のため、増加する若手教員を対象にした研修を今後も充実させる必要がある。

外部評価委員評価及び意見等

○教職員研修は、市教育委員会、学校、教員のニーズ別に3種類で構成されており、うまく機能していると考えられる。

特に若手教員を対象とした退職教員による指導力向上のための支援は、若手教員の指導希望内容に沿ったものであることから、非常に評価できる。

今後、研修を活用した若手教員が、その成果を発揮できるよう、公開授業等の場に積極的に参加できるよう支援してほしい。

施策番号	6
施策名	安心・安全な教育環境の充実

<p>施策の目指す姿</p> <p>児童生徒が安心して通え、楽しく過ごすことができる居場所としての学校づくりに取り組むとともに、あらゆる危機に対応する力をはぐくむ安全教育の充実を図る。</p>
<p>施策の方向性</p> <p>① 学校における安心・安全の確保</p>

事業名	安心・安全教育	施策の方向性	①				
事業概要 実績	○いじめ調査の概要						
	平成 28 年度 いじめ調査の認知・解消件数						
	段 階	1 段階		2 段階		3 段階	
	項 目	認知	解消	認知	解消	認知	解消
	小学校	1,434	1,414	23	3	0	0
	中学校	132	107	47	22	0	0
	合 計	1,566	1,521	70	25	0	0
	○不登校数《年間 30 日以上欠席》（昨年度）						
	・小学校 0.84% (0.68%)						
	・中学校 4.14% (3.19%)						
○交通安全教室の実施							
小学校 「歩行練習」 1年：向陽、2向、3向、4向、5向、6向							
「自転車教室」 2年：向陽、2向、3向、4向、5向、6向							
「自転車運転免許教室」 4年：向陽、2向、3向、4向、5向							
5年：6向							
中学校 「交通安全教室（自転車）」 1年：勝山、西ノ岡、寺戸							
担当課	学校教育課						

事業名	登下校時安全対策	施策の方向性	①
事業概要 実績	<p>①通学路安全推進会議の開催（年2回） 向日市通学路交通安全プログラムに基づき、通学の安全対策について協議を行った。 構成団体：京都府乙訓土木事務所・京都府向日町警察署 向日市（防災安全課・学校教育課・道路整備課）</p> <p>②交通指導員の配置 小学校の通学路における交差点や踏切等、登校時26箇所、下校時12箇所の危険箇所に交通指導員を配置し、通学路の安全確保を図った。 また、老朽化した交通安全啓発用反射電柱幕の交換や新たな設置を行い、通学路の交通安全について啓発を行った。</p> <p>③防犯ブザーの配布 小中学校の新1年生全員に防犯ブザーを配布した。 (小学生503個、中学生531個)</p>		
担当課	学校教育課		

事業名	学校施設の整備	施策の方向性	①
事業概要 実績	<p>○児童生徒が快適な教育環境のもとで学校生活が送れるよう、校舎内のトイレ改修を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 改修内容 床面乾式床、洋式大便器、自動洗浄機能付小便器、自動水洗式手洗い器、人感センサー式LED照明機器 平成28年度トイレ改修箇所 第3向陽小学校、第5向陽小学校、第6向陽小学校、西ノ岡中学校、寺戸中学校（各1箇所） 		
担当課	教育総務課		

施策の成果と課題

【成果】

○きめ細やかないじめ調査を実施し、児童生徒の状況をアンケートでつかむとともに、面談により、相談や指導につなげ、いじめ防止や予防につなげることができた。

○通学路安全推進会議において、通学路の危険箇所の情報を各機関と共有し、安全対策について検討を行った。

また、交通指導員の配置及び電柱幕の設置により通学路の安全を確保し、児童の交通安全に対する意識の向上を図った。

さらに、防犯ブザーを配布することにより、新1年生の防犯・安全意識の啓発を行った。

○児童生徒が快適な教育環境のもとで学校生活を送れるよう、校舎内のトイレ改修を実施した。

【課題】

○不登校児童生徒は増加傾向にあり、一人一人の状況が複雑・多様化する中で、各児童生徒の理解に加え、保護者対応や医療的な対応など、専門機関との連携を一層進め、更なる具体的な手立てを講じる必要がある。

○道路状況の変化等により通学路の危険箇所は常に変化するため、通学路安全推進会議や学校・地域と連携して、定期的に交通指導員の配置時間や配置場所について見直しを行う必要がある。

また、防犯ブザーを引き続き配布するとともに、様々な機会を通じて定期的な電池交換や常時携行について周知を図り、いざという時に使えるよう啓発を行う必要がある。

○向日市公共施設等総合管理計画に基づき、学校別に改築、改修計画を定めていく必要がある。

外部評価委員評価及び意見等

○児童生徒の安全確保は、交通指導員の配置及び電柱幕の設置等の様々な予防対策がされており評価できる。今後も継続していく必要がある。

さらに、児童生徒が自分の身を自分で守れるよう、危険察知能力等の資質の向上にも努めてほしい。

○トイレは、児童生徒が快適に学校生活を送るうえで欠かせない設備であり、トイレを洋式化等に改修することは評価できる。

今後、各学校のトイレの改修が完了するまで事業を完遂してほしい。

施策番号	7
施策名	生涯学習環境の充実

<p>施策の目指す姿</p> <p>市民が生涯にわたり、多様な学習活動を行うことができるよう、自主的、自発的な学習活動を支援するとともに、学習機会の提供及び学習の成果を活かす場や機会の充実に努める。</p>
<p>施策の方向性</p> <p>① 生涯学習の振興</p> <p>② 社会教育施設における学習機会の充実</p>

事業名	生涯学習情報誌の発行	施策の方向性	①
事業概要 実績	<p>市などが開催する生涯学習関連事業の情報を市民に提供するため、生涯学習情報誌を発行した。</p> <p>生涯学習情報誌：年2回(前期・後期) 各450部発行(市内公共施設等に配布)</p> <p>子ども向け夏休み情報誌：年1回(夏休み前)、各小学校児童に配布</p>		
担当課	生涯学習課		

事業名	生涯学習推進ボランティアサークル「まなぼうや」への支援	施策の方向性	①
事業概要 実績	<p>生涯学習の推進に取り組むボランティアサークル「まなぼうや」の活動に対して、講座の受付や広報等で支援を行った。</p> <p>開催講座数：7講座 参加者：約55人</p>		
担当課	生涯学習課		

事業名	中央公民館生涯学習講座	施策の方向性	②
事業概要 実績	<p>全13講座、参加者290人</p> <p>①ふしぎ発見！理科教室 (5講座 参加者128人) 小学4～6年生を対象に、理科好きの子どもを育成するために毎回実験を行い、理科の不思議について学んだ。</p> <p>②夏休み体験教室 ・JR見学(参加者74人) 市内事業所であるJR西日本吹田総合車両所京都支所(旧向日町操車場)の見学。特急に乗車し操車場内や仕業点検・洗浄などを見学し、安全・快適に運行されていることを学んだ。 踏切事故防止の啓発</p> <p>③教養講座 ・歴史「タブレットを使って私たちの町を散歩しよう」 (2講座 参加者18人)</p>		

	<p>史跡長岡宮の説明。アプリを使用して朝堂院公園と大極殿公園を復元・体感した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金融「子育てママのミニマネー講座「わたし」の人生プラン」 (参加者11人) 人生の3大資金に対する考え方を中心にライフプランの基礎を学んだ。 ・環境「住まいにおける省エネルギー的なライフスタイルを考える」 (参加者10人) 住宅とライフスタイルの視点から省エネルギー問題を考えるきっかけを学んだ。 <p>④健康講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「がんは遺伝するのか?～がんと遺伝について考える～」(参加者16人) がんと遺伝との関係について正しい知識を学んだ。 ・「身近に迫る依存症～アルコール・薬物からギャンブルまで～」 (参加者10人) 依存症とは?なぜ依存症になるのか?依存症になった時の対処法など、事象をもとに解説された。 <p>⑤国際理解講座 「ブラジルを体験しよう」(参加者23人) ブラジルの文化、言語、風習、国民性、日本との違いなどの紹介やウッドビーズでネックレスの作成を行った。</p> <p>⑥学習発表会(舞台発表) 発表者9団体 ⑦市民文化展 出展数92点</p>
担当課	中央公民館

事業名	地区公民館生涯学習講座	施策の方向性	②
事業概要 実績	<p>全7講座、参加者137人</p> <p>①寺戸公民館講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フラダンス体験教室(参加者11人) 心身の健康のためにフラダンスを体験した。 ・寄せ植えを楽しもう(参加者20人) クリスマスから新春を飾る寄せ植えを作った。 ・楽しく学ぶ干支剪画教室(参加者30人) 剪画の技法を学び、来年の干支である「酉」の色紙を作成した。 <p>②物集女公民館講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クリスマスリース作り(参加者11人) リース作りを通してクリスマスの季節感を味わった。 <p>③森本公民館講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お正月の寄せ植え(参加者28人) 新年を迎える準備として玄関を飾る寄せ植えを作った。 <p>④鶏冠井公民館講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レジンで作るピルケース(参加者19人) 		

	<p>樹脂（レジン液）をかためて、手軽にできるオリジナルピルケースを作成した。</p> <p>⑤上植野公民館講座 ・金箔手工芸(参加者18人) 新春に向けて干支の色紙を作成した。</p> <p>⑥学習発表会（展示・掲示発表）出展数799点</p>
担当課	中央公民館

事業名	図書館読書推進事業	施策の方向性	②
事業概要 実績	<p>①資料の収集と貸出 蔵書数 17万9千点 貸出 32万5千点、貸出者数 8万9千人</p> <p>②レファレンス・サービス 受付件数 109件</p> <p>③予約サービスによる資料提供、他館との相互貸借、障がい者サービス 予約処理件数 20,719件 相互協力 貸出346件、借用1,734件 障がい者サービス 自宅配本 36回 183点</p> <p>④読書の普及推進と読書環境の向上を図るための各種読書推進活動 おはなし会プラスコンサート（3回実施）参加者 150人 おはなしひろば（8回実施）参加者 394人 文学講座（2回実施）受講者 111人 小中学生読書感想文コンクール 応募者 188人 図書館リサイクル・デー 参加者 130人 (1,027冊を譲渡) 大人の朗読会（4回実施）参加者 71人 全国訪問おはなし隊キャラバンカー 参加者 36人（おはなし会）</p> <p>⑤図書館ボランティアの育成及び支援 ボランティア講習会 受講者 9人 ボランティア養成講座 受講者 33人</p> <p>⑥読書手帖のホームページへの掲載や配布、マイ本棚機能の付加</p>		
担当課	図書館		

事業名	文化資料館運営事業	施策の方向性	②
事業概要 実績	<p>①古代の都“長岡京”をテーマとした常設展示の運営</p> <p>②特別展「長岡宮の大極殿と朝堂院」 期間中入館者 1,053人</p> <p>③ラウンジ展 ※（ ）内は期間中入館者数 「武者人形と天神人形」（2,158人） 「自転車に乗って～増田自転車商会と昭和の向日町」（1,989人） 「むこうし・おとくにの歴史ある風景」（1,215人） 「くらしのなかの戦争展」（2,640人）</p>		

	<p>「夏休み子ども歴史教室作品展」(824人) 「弟国から乙訓へ～地名でたどる歴史」(1,321人) 「観光乙訓事始PartⅡ」(773人) 「くらしの道具展」(3,252人)</p> <p>④文化活動事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『国際博物館の日』記念事業「資料館内を電車が走る!Part7」 来場者 634人(定員なし) ・日曜談話会 <p>(1)「手紙で読みとく戦争」参加者 20人(定員なし) (2)「長岡から西岡へ～地名「長岡」の移動」参加者 45人(定員なし) (3)「乙訓名勝案内記～120年前の観光パンフレット～」 参加者 32人(定員なし)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史ウォーク「明治・昭和の鉄道沿線と西国街道を歩く」 参加者 29人(定員30人) ・歴史講座 <p>(1)「乙訓における戦前の鉄道計画～新京阪山科線と洛西線～」 参加者 86人(定員80人) (2)「初詣は鉄道とともに生まれ育った!?!～鉄道と社寺参詣の近代史～」 参加者 66人(定員80人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別展記念講演会 <p>(1)「宝菩提院菩薩半跏像を造ってわかった!特殊な表現方法と桓武天皇の唐への憧れ」参加者 84人(定員80人) (2)「山背遷都と靈験薬師仏一宝菩提院菩薩踏下像との関係を中心に一」 参加者 92人(定員80人)</p> <p>⑤むこうし歴史行列絵巻事業</p> <p>(1)夏休み子ども歴史教室「かぶとを作って西岡衆を学ぶ」 参加者 25人(定員25人) (2)古代佩飾品ワークショップ「作って体験!長岡京」 参加者 ①20人②20人③20人④20人 合計80人(定員80人) (3)古代衣裳ファッションショー 参加者 ボランティアスタッフ26人 市民モデル45人 観客90人 合計161人(定員 観客80人)</p>
担当課	文化資料館

事業名	天文館運営事業	施策の方向性	②
事業概要 実績	<p><事業概要> ○プラネタリウム新番組の導入、講演会や講座の開催など、天文への興味・関心を高める事業を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開館日数 245日、投影日数212日、投影回数674回 ・プラネタリウム一般投影 観覧者数 4,548人(特別投影を含む) ・プラネタリウム団体投影 観覧者数 3,132人(90団体) 		

	<p>・観覧者の内訳 大人3,090人、小中学生1,510人、幼児3,080人 計7,680人</p> <p>・団体の内訳 市内20団体786人、市外70団体2,099人 幼稚園33団体1,033人、保育所28団体1,299人、こども園等9 団体296人、小学校8団体320人、その他12団体184人</p> <p>○定例天体観望会 参加者数 387人（12回開催）</p> <p>○特別天体観望会 参加者数 410人（5回開催） スターウォッチング in 朝堂院（6月） 昼の金星観望会（12月）、昼の金星観望会（2月） 夏休み親子観望会（7月）、中秋の名月観望会（9月）</p> <p>○天文教室・講座 参加者数 475人（13回開催） 夏の天文教室（7月2回、8月2回） 冬の天文教室（1月1回、2月2回） 天文実験講座（7月2回） 天文学講座（プラネタリウム投影教室9月～12月 各1回）</p> <p>○特別企画事業 参加者数 329人（5回開催） 七夕コンサート（8月）、星空☆落語（10月） 秋の特別投影（10月）、クリスマスコンサート（12月） JAXA 宇宙科学研究所特別天文講演会（2月）</p> <p>○来館者総数11,795人（ロビーのみ入館者 2,514人）</p>
担当課	天文館

施策の成果と課題	
【成果】	<p>○生涯学習情報誌の発行や「まなぼうや」講座により、市民に多様な生涯学習関連事業の情報及び学習機会を提供することができた。</p> <p>○中央公民館で各種講座を開催し、市民に学習の場を提供することができた。 特に子育て中の方を対象にした講座では、「普段外に出る機会が少ない中、子連れで参加することができた」と好評であった。</p> <p>○地区公民館で様々な講座を開催することにより、市民の自主的な学習支援や生涯学習の環境づくりに努めることができた。</p>

○図書館の各種読書推進事業（7事業※うち新規1事業）への参加者が前年度から90人増えた。また、ボランティア活動支援の結果、おはなしボランティアとして新しく2人が登録した。

○文化資料館展示事業について、年間を通じて多彩なテーマでラウンジ展を開催することができた。また、3月に開催した特別展では宝菩提院菩薩半跏像模刻像の展示が新聞記事に大きく取り上げられるなど注目を集め、1か月間に満たない開催期間中に1,053人の来館者があった。この結果、年間入館者数は前年度から1,791人の増となった。

○文化活動事業について、「資料館内を電車が走る！Part7」では、親子連れを中心に、3日間で634人と多くの来館者があった。また、特別展期間中に2回開催した記念講演会はいずれも定員を上回る参加者があったほか、ラウンジ展に関連するテーマで2回開催した歴史講座も好評であり、展示事業と関連した内容で多くの方に学習機会を提供することができた。

○天文館での投影番組や投影回数を増やし、継続して活性化事業等を展開するとともに、講座や教室等の開催を拡充し、子どもから大人まで楽しめる生涯学習の場として充実できた。

また、新たに宇宙航空研究開発機構（JAXA）の講師を招致するなど、多様な事業を通して多くの方に天文への興味と関心を深めてもらうことができた。

入館者については、前年度に引き続き10,000人を超えることができた。

【課題】

○生涯学習について、引き続き市民が自主的・自発的に学習活動に取り組めるよう、各課・関係機関が行っている講座の情報を取りまとめ、提供に努める必要がある。

○中央公民館の講座の参加者からは、良い内容であったという声が多数あったが、参加者数について定員を満たさないこともあり、周知の方法などに工夫が必要である。

また、向日市の歴史や文化・特性を活かした講座や多様な市民ニーズに対応し、学習活動のきっかけになるような講座、保育ルームなどを設置し、誰もが参加できるような講座の開催に努める。

○図書館の利用者が固定化しており、新たな利用者を呼び込むための工夫が必要である。

また、年々増加する多種多様なニーズに応えるため、資料の充実と情報の収集、職員の技能向上が必要である。

○展示事業について、今後も展示内容の充実と積極的な広報に努め、入館者数の一層の増加につなげる必要がある。また、特別展や企画展については、本市だけでなく乙訓地域全体、さらには、より広い範囲の地域の方々からも関心を持ってもらえるような訴求力のある内容で開催する必要がある。

○文化活動事業について、展示事業と関連して開催する歴史講座や講演会などについては、多くの方の参加があり、展示内容への理解と関心をより深める機会の提供として、今後も魅力的なテーマ設定に努める必要がある。

夏休み子ども歴史教室など次世代向けの事業については、実績を重ねてきた一方、目新しさが求められている面もあり、これまでの経験を継承・活用しつつも、全体的に内容を再検討していく必要がある。

外部評価委員評価及び意見等

○生涯学習情報誌、子ども向け夏休み情報誌による生涯学習情報の提供や「まなぼうや」への支援については評価できる。

今後、情報誌を活用している方の意見等を取り入れ更新し、これらの情報誌を今まで見ていない層の方々にも活用してもらえよう取り組んでほしい。

○図書館については、様々な取組の実施やボランティア団体の意見を反映した運営ができていることは評価できる。

今後、子ども、親子連れの方等が、来館しやすいよう取り組んでほしい。

○天文館については、市外からの団体来館者数等が増加していることから、市外の方の認知度が高まってきていると考えられる。

今後、市外への周知に加え、天文館に来場したことがない市民にも興味を持ってもらえるよう取り組んでほしい。

○文化資料館については、様々な催しを実施していることは評価できる。

今後、歴史文化との関わりが深い市であることを意識し取り組んでほしい。

○中央公民館については、多くの講座を開催していることは評価できる。

今後、様々な意見を反映させ、幅広い層に向けた講座を企画、実施してほしい。

施策番号	8
施策名	家庭・地域社会の教育力の向上

<p>施策の目指す姿</p> <p>家庭教育はすべての教育の出発点であり、その担い手である保護者自身が学ぶための学習機会の充実に努めるとともに、学校・家庭・地域社会が連携して、様々な活動を通して地域の絆を強め、地域全体で子どもたちをはぐくむ環境づくりを推進する。</p>
<p>施策の方向性</p> <p>① 家庭の教育力の向上</p> <p>② 地域社会の教育力の向上</p>

事業名	家庭教育講座	施策の方向性	①
事業概要 実績	<p>○家庭および地域の教育力の向上（基本的な生活習慣の重要性）について、市民への理解を呼びかけ、地域での取組みの促進を図ることを目的に開催した。</p> <p>「親子で安心して、小学校1年生を迎えるためには？ ～乳幼児教育のウソ？ホント？」 参加者：44人</p>		
担当課	生涯学習課		

事業名	PTA との連携・支援	施策の方向性	①
事業概要 実績	<p>○向日市PTA連絡協議会の活動に対する支援・助言</p> <p>○社会教育関係団体への補助金交付 交付団体：市立小中学校PTA</p>		
担当課	生涯学習課		

事業名	学校支援地域本部事業	施策の方向性	②
事業概要 実績	<p>○学校を核とした地域づくりを目的に、地域住民が自らの経験や知識を生かして学校の教育活動を支援する体制づくりを推進した。</p> <p>実施校：向陽小（H26～）、2向小（H24～）、3向小（H21～） 5向小（H27～）、6向小（H28～）【拡充】 勝山中（H27～）、西ノ岡中（H25～）</p> <p>実行委員：39人</p> <p>内 容：学習支援、環境整備、読書活動支援、部活動支援など</p>		
担当課	生涯学習課		

事業名	放課後児童サポート事業	施策の方向性	②
事業概要 実績	<p>○5時間目終了後から高学年の授業終了までの間、低学年を対象に自由遊び等を行った他、2向では全学年を対象に放課後学習を実施した。</p> <p>実施場所：市内全小学校 実施回数：123回（年間延べ17,484人）</p> <p>内 容：グラウンド・体育館での自由遊び、教室での自主学習など</p>		
担当課	生涯学習課		

事業名	ジュニア・リーダー養成講座	施策の方向性	②
事業概要 実績	<p>○次世代のリーダーとして必要な知識、技術、コミュニケーション能力の習得を目的に、野外活動・講話・実習などの体験学習や集団学習を行った。</p> <p>参加者：21人（小学校5、6年生：18人 中学生：3人）</p> <p>開講数：7回</p>		
担当課	生涯学習課		

事業名	青少年健全育成団体との連携・支援	施策の方向性	②
事業概要 実績	<p>○青少年健全育成団体との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全見守りパトロール、あいさつ運動の実施 ・市民ふれあいコンサートの実施 ・環境浄化活動の実施（携帯電話取扱店舗の立入調査） <p>○青少年健全育成団体への補助金交付 交付団体数：4団体</p>		
担当課	生涯学習課		

施策の成果と課題	
【成果】	<p>○「小1プロブレム」に焦点をあてた講座を開催することで、家庭教育の担い手である保護者自身が就学前の子どもについて学べる機会を提供することができた。</p> <p>○新たに第6向陽小学校で学校支援地域本部事業に取り組むことにより、学校を核とした地域づくりを推進することができた。</p> <p>○PTA・青少年健全育成関係団体によるさまざまな活動を通して、地域ぐるみで子どもを育む環境づくりを推進することができた。</p>
【課題】	<p>○PTAや青少年健全育成関係団体と連携し、「早寝・早起き・朝ごはん」など基本的な生活習慣の重要性や現代的課題（SNSや危険ドラッグ等）への理解促進を図る必要がある。</p> <p>○学校支援地域本部事業の全校実施に向けて学校と協議を行っていくとともに、引き続き地域と連携した支援を推進していく必要がある。</p>

外部評価委員評価及び意見等	
<p>○教育力の向上のため、地域の方と連携し、様々な事業を実施していることは評価できる。</p> <p>今後も各事業を継続して取り組んでいくため、地域や学校、関係者の事情を考慮し、学校の需要に沿った事業の充実を図ってほしい。</p>	

施策番号	9
施策名	子育てを支援する保育環境づくり

<p>施策の目指す姿</p> <p>子育て支援のための施設の計画的な整備を図るとともに、時間延長等多様な保育サービスの充実に努める。</p>
<p>施策の方向性</p> <p>① 放課後児童健全育成事業（留守家庭児童会運営事業）</p> <p>② 幼児教育の振興</p>

事業名	放課後児童健全育成事業（留守家庭児童会運営事業）	施策の方向性	①
事業概要 実績	<p>○保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校児童に対し、授業の終了後に遊びや生活の場を提供し、その健全な育成を図る。</p> <p>①各留守家庭児童会入会児童数 559人(5月1日現在)</p> <p>第1留守家庭児童会 124人(3クラブ)</p> <p>第2留守家庭児童会 107人(3クラブ)</p> <p>第3留守家庭児童会 76人(2クラブ)</p> <p>第4留守家庭児童会 103人(3クラブ)</p> <p>第5留守家庭児童会 89人(3クラブ)</p> <p>第6留守家庭児童会 60人(2クラブ)</p> <p>②指導員研修会の実施 計7回(参加者延べ154人)</p> <p>「『指導員の危機管理意識』の醸成について」</p> <p>「人権研修会『同和問題の歴史と現状を考える』」</p> <p>「消防訓練(指導員対象及び児童・指導員対象の計2回)」</p> <p>「児童虐待防止について考える」</p> <p>「障がいのある児童と配慮について」</p> <p>「家庭教育講座『親子で安心して、小学校1年生を迎えるためには?』」</p> <p>③施設環境整備(トイレ改修)</p> <p>女子トイレの増設(男女別化):第3・6留守家庭児童会</p> <p>洋式便器への改修:第3・5・6留守家庭児童会</p>		
担当課	生涯学習課		

事業名	幼児教育の振興	施策の方向性	②
事業概要 実績	<p>○向日市私立幼稚園就園奨励費補助金・向日市私立幼稚園児教材費補助金 子どもの心身の健やかな成長を促す上で、極めて重要である幼児教育を行う幼稚園への就園を奨励し、園児の保護者の経済的負担の軽減を図るため、補助金を交付 就園奨励費：所得制限あり 交付：園児688人 総額94,662,500円 教材費補助金：園児1人当たり42,000円 交付：園児781人 総額32,802,000円</p> <p>○向日市私立幼稚園設備費補助金 市内私立幼稚園の教育環境の整備に対する補助金交付 交付：市内3園 1園当たり210,000円</p> <p>○乙訓私立幼稚園協会教育研究補助金 乙訓私立幼稚園協会が実施した職員研修等に対して補助金を交付 交付：195,000円</p> <p>○向日市私立幼稚園特別支援教育振興補助金 市内3私立幼稚園特別支援教育に係る人件費に対し補助金を交付 交付：市内3園 総額 2,548,000円</p>		
担当課	教育総務課		

施策の成果と課題

【成果】

- 入会要件を満たす児童を全て受け入れたことで、保護者のニーズに応えることができた。
- トイレの改修を行ったことにより、全児童会のトイレで男女別化及び洋式便器を整備することができた。
- 私立幼稚園に在園する園児の保護者のうち、多子世帯及びひとり親世帯等の保護者負担軽減を拡充することにより、更に保護者の経済的負担を軽減することができた。
私立幼稚園の設備、備品の整備を促進するとともに教職員の研修会等を支援することにより、幼児教育の振興を図ることができた。
障がいのある幼児を受け入れる私立幼稚園を支援することにより、障がいのある幼児の就園促進及び教育振興を図ることができた。

【課題】

- 児童が安心・安全に過ごすことができ、保護者も安心して就労することができるよう、各児童会において引き続き指導員の確保及び環境整備に努める必要がある。
- 幼稚園に係る補助制度が複雑化しているため、理解しやすい案内が必要である。
また、入園を検討している方に対し、広く周知を図る必要がある。

外部評価委員評価及び意見等

- 各留守家庭児童会で入会希望者を全員受け入れることができた体制やその指導員に必要な内容の研修が実施できたことは評価でき、引き続き体制の維持と研修内容の吟味に努めてほしい。
また、トイレの改修についても必要な整備ができたと評価できる。

施策番号	10
施策名	スポーツの振興

<p>施策の目指す姿</p> <p>市民が健康で心豊かに暮らせるよう、市民一人一人のライフステージに応じたスポーツ活動の推進とスポーツに親しめる環境の充実に努める。</p>
<p>施策の方向性</p> <p>① スポーツ活動の推進</p>

事業名	各種スポーツイベントの開催	施策の方向性	①
事業概要 実績	<ul style="list-style-type: none"> ・市民総合体育大会 参加者：581人 ・スポーツ交流フェア 参加者：550人 ・スポーツランド 参加者：426人 ・ボールゲームフェスタ 参加者：128人（対象：5歳～小学6年生） 		
担当課	生涯学習課		

事業名	市民体育館の管理運営	施策の方向性	①
事業概要 実績	<p>平成18年度から指定管理者制度を導入し、平成28年度から5年間の指定管理者に（公財）向日市スポーツ文化協会を指定している。</p> <p>体育室稼働率：88.4%</p> <p>トレーニング室利用者：18,624人</p>		
担当課	生涯学習課		

事業名	スポーツ指導者育成	施策の方向性	①
事業概要 実績	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員の育成 研修会の開催（毎月1回）、スポーツイベントへの派遣など ・スポーツ指導者研修会の開催 「パネルディスカッション『市長とプロ球団新春スポーツを語る』」 参加者：91人 		
担当課	生涯学習課		

事業名	学校等体育施設開放事業	施策の方向性	①
事業概要 実績	<p>社会体育の振興を図るため、学校等体育施設の開放を行った。</p> <p>使用回数 ○小学校 体育館：2,139回 グラウンド：1,535回 ○中学校 体育館：879回 ○向日町競輪場スポーツ施設：1,067回</p>		
担当課	生涯学習課		

事業名	フレンドシップ協定に基づく事業	施策の方向性	①
事業概要 実績	京都サンガ F.C. 及び京都ハンナリーズに加え、京都フローラとフレンドシップ協定を結び、市民の体力向上に向けた取組を推進した。 ・健康アカデミー、バスケットボールクリニックの開催 ・向日市民デーの実施		
担当課	生涯学習課		

施策の成果と課題	
<p>【成果】</p> <p>○各種スポーツイベントの開催や体育施設の有効活用を図ることにより、市民がスポーツに親しめる環境を提供することができた。</p> <p>○京都フローラとフレンドシップ協定を締結したことにより、府内3つのプロ球団と協定を結んだ初めての自治体となり、各球団と連携した市民の健康づくりを推進することができた。</p> <p>【課題】</p> <p>○（公財）向日市スポーツ文化協会や関係機関・団体との連携によるスポーツ活動を推進するとともに、引き続き体育施設の有効活用に努める必要がある。</p>	

外部評価委員評価及び意見等	
<p>○プロ3球団と結んだフレンドシップ協定の活用や（公財）向日市スポーツ文化協会との連携、協力により、様々な事業に取り組んでいることは評価できる。</p> <p>今後、より幅広い年齢層の方が取り組める事業の実施に努めるとともに、フレンドシップ協定を様々な事業で活用してほしい。</p>	

施策番号	11
施策名	多様性を認め合う社会の実現

<p>施策の目指す姿</p> <p>市民が生涯のあらゆる場や機会を通じて、人権尊重の理念や、同和問題など様々な人権問題についての正しい理解と認識を深めるとともに、実践につながる自発的な学習活動の促進と、その啓発に努める。</p>
<p>施策の方向性</p> <p>① 人権教育の推進</p>

事業名	人権研修会	施策の方向性	①
事業概要 実績	<p>市民がそれぞれの状況に応じて、人権尊重の理念に対する理解を深め、これを体得することができるよう、人権について学ぶ機会として開催する。</p> <p>第1回「同和問題の歴史と現状を考える」 参加者：44人</p> <p>第2回「児童虐待防止について考える シネマ&トーク『やさしい花』の上映と交流について」 参加者：69人</p>		
担当課	生涯学習課		

施策の成果と課題	
<p>【成果】</p> <p>○異なる2つのテーマを取り上げたことにより、多様な人権問題について学習できる機会を提供することができた。</p> <p>また、第2回目では講演だけでなく、DVD視聴と意見交流を取り入れて実施したことで、テーマについて参加者の理解をより深めることができた。</p>	
<p>【課題】</p> <p>○社会に存在する様々な人権問題について、一人一人が自分自身の課題として捉えられるよう、市民に身近な切り口で研修会を実施する等の工夫が必要である。</p>	

外部評価委員評価及び意見等	
<p>○講演会の内容が、講演だけでなく、DVD視聴や意見交流など工夫を凝らしたものであることや、講師の選定が実際の講演の様子を見学するなど、よく吟味できており評価できる。</p>	

施策番号	12
施策名	歴史・文化資源の整備と活用

施策の目指す姿 文化財の保護及び積極的な整備や活用に努め、歴史・文化資源を未来に継承する。
施策の方向性 ① 文化財の保護と活用

事業名	有形文化財の保護と活用事業	施策の方向性	①
事業概要実績	○建造物の保護と活用 ・防火・防犯 文化財火災予防運動の期間、広報活動、消防訓練、消防設備の点検立入検査 ・維持管理 国及び京都府指定文化財（建造物）修理・防災設備維持管理に補助 4件 386,000円 ・文化活動補助 国登録有形文化財を活用した文化活動に補助 1件 40,000円 ○美術工芸品の保護と活用 美術工芸品（絵画）保存修理補助金 1件 344,000円		
担当課	文化財調査事務所		

事業名	無形文化財の保護と後継者育成事業	施策の方向性	①
事業概要実績	○無形民俗文化財の保護と活用 保存団体の文化活動と後継者育成に補助 2件 70,000円		
担当課	文化財調査事務所		

事業名	史跡の保護と活用事業	施策の方向性	①
事業概要実績	○史跡公園整備事業 史跡長岡宮跡大極殿西・北面回廊地区の保全整備を図るため、埋蔵文化財発掘調査を実施し、その成果を反映し整備実施設計を行った。 ○史跡長岡宮跡 地域追加指定 長岡宮跡内裏内郭築地回廊・外郭築地地区の地域追加指定 指定年月日 平成28年10月3日 指定面積 1,410.73㎡ 累計指定面積 15,686.45㎡ ○史跡長岡宮跡買上事業		

	<p>買上地 向日市鶏冠井町東井戸、萩所 買上げ面積 1,410.73㎡ 既公有化面積及び公有化率 13,378.50㎡ 85.29% (国・府所有地含む)</p> <p>○史跡長岡宮跡大極殿等一部復元プラン策定事業 古代の都「長岡京」で、天皇が政治を営んだ「大極殿」や「朝堂院」等を現地に原寸大で一部復元するために基本構想・設計と模型を作成した。</p> <p>○史跡乙訓古墳群標識等設置 平成28年3月に史跡に指定された乙訓古墳群を保存し広報するため、標識を設置した。 元稻荷古墳(2基)、五塚原古墳(2基)、寺戸大塚古墳(1基、既存石碑に刻印)、南条古墳(1基)、物集女車塚古墳(1基、既存陶板修繕)</p> <p>○保存団体への補助 市内に所在する史跡等の保存団体に対し文化活動補助 3団体 78,000円</p>
担当課	文化財調査事務所

事業名	埋蔵文化財の保護と活用事業	施策の方向性	①
事業概要 実績	<p>○開発等に係る埋蔵文化財の審査 開発、まちづくり条例に係る文化財審査 42件 建築確認申請に係る文化財審査 331件 埋蔵文化財発掘届出書受理 239件 埋蔵文化財発掘通知書受理 26件</p> <p>○埋蔵文化財発掘調査等事業 埋蔵文化財発掘調査 13件 1,227.10㎡ 埋蔵文化財詳細分布調査 236件 (工事立会)</p> <p>○埋蔵文化財出土遺物保存処理事業 長岡京跡出土銭貨 50点</p> <p>○埋蔵文化財出土遺物整理分類事業 埋蔵文化財発掘調査等の出土遺物を活用度に応じA～Dの四種類に分類し、そのデータベース作成を実施した。 平成28年度 コンテナ76箱 392点 (点数は活用できるA、B分類のみ) 累計 11,766箱 71,090点 (点数は活用できるA、B分類のみ)</p>		
担当課	文化財調査事務所		

事業名	文化財の広報普及事業	施策の方向性	①
事業概要 実績	<p>○史跡長岡宮跡朝堂院公園公開・説明 開園日数 352日 来訪者数 10,555人(1日平均30人) 累計来訪者数 47,684人(平成22年6月～)</p> <p>○AR長岡宮の活用 利用者数 4,474人 (ダウンロード3,806人、貸出タブレット 668人) 累計利用者 9,704人 (ダウンロード6,376人、貸出タブレット3,328人)</p> <p>○古代衣装の貸出(長岡京期の衣装 男女各3着) 貸出数 55人</p> <p>○史跡乙訓古墳群物集女車塚古墳石室一般公開 一般公開 期 間 平成28年5月24日～平成28年5月31日 見学者 700人 臨時公開 期 間 申込日(随時) 見学者 286人</p> <p>○市民考古学講座開催事業 「古代豪族秦氏と長岡・平安京」を主題とし、講座6回と講演会1回を実施した。 参加者 計772人</p> <p>○埋蔵文化財調査成果展の開催 展示会名 「みやこの宇都波毛乃(うつわもの)～長岡京の器～」 期 間 平成28年9月10日～平成28年10月10日 来館者 869人 講演会 開催日 平成28年9月25日(日) 演 題 古代的食器からみた桓武朝の変革 参加者 65人</p> <p>○スタンプラリー開催 市内5か所の史跡等をめぐる自由参加型のウォーキングイベント ヘッドマウントディスプレイを使った長岡宮VR体験 開催日 平成29年2月11日(土・祝) 参加者 300人</p> <p>○埋蔵文化財発掘調査現地説明会</p>		

	<p>埋蔵文化財発掘調査の成果を広報するため、市民を対象に3回（長岡宮大極殿、五塚原古墳、物集女城跡）の現地説明会を開催した。</p> <p>参加者 480人</p> <p>○スライドでみるおとくへの発掘 平成28年度に乙訓地域で実施した主な埋蔵文化財発掘調査成果をスライドなどで広く市民に報告した。</p> <p>主 催 乙訓文化財事務連絡協議会 (2市1町教育委員会、向日市・長岡京市埋蔵文化財センター)</p> <p>開催日 平成29年3月5日(日)</p> <p>場 所 大山崎町ふるさとセンター</p> <p>参加者 80人</p> <p>○埋蔵文化財等保管資料の活用 出土遺物等 6機関に211点の資料を貸出 写真資料提供、掲載等承諾 9機関に20点を提供 保管資料の調査・見学対応 2機関に15点の資料を提供</p> <p>○歴史資源デジタルコンテンツ化事業 作成アプリ名 「墳タビ!物集女車塚古墳」について最新のデジタルコンテンツ</p> <p>対 応 機 器 iOS、Android用のスマートフォン・タブレット</p> <p>配 信 日 平成29年3月末</p> <p>○長岡宮絵灯路と向日町のまち場の再現 開催日 平成28年11月12日(土)</p> <p>場 所 史跡長岡宮跡 朝堂院公園</p> <p>内 容 朝堂院の絵灯路・・・復元した柱跡の上に絵灯籠を設置 向日町のまち場の風景・・・江戸時代の大道芸を披露</p> <p>参加者 280人</p>
担当課	文化財調査事務所

事業名	歴史・文化拠点の整備	施策の方向性	①
事業概要 実績	<p>○調査活動及びソフト面の整備 調査活動では、未刊乙訓郡誌活用調査、寺戸村庄屋文書調査及び歴史資源調査を行った。ソフト面の整備としては、長岡宮跡牛車わだち跡模型を3D計測して写真パネルや映像番組を制作したほか、常設展の内容を紹介する映像番組を制作した。</p> <p>○市民活動の推進 (1) 文化資料館ボランティアの会の育成</p>		

	<p>常設展示案内を中心に来館者に応対するガイド班と、収蔵資料の整理、民具の展示などに取り組む資料整理・展示班に分かれて活動するボランティアの会の育成・支援を行った。(登録者 18人)</p> <p>(2) むこうまち歴史サークルの育成</p> <p>文化資料館を拠点とする自主学習サークルとして、テーマごとに計4班を編成し、各班毎月2回の学習活動を支援した。また、サークル全体での合同研修会を実施し、他団体と講演会を共催した。(登録者 53人)</p>
担当課	文化資料館

施策の成果と課題	
<p>【成果】</p> <p>○「歴史的風致維持向上計画事業」と連携し、文化財を適切に保護するとともに、復元・体験アプリケーション「AR長岡宮」などの配信や講座、講演会など、地域の特色ある歴史・文化資源の魅力を引き出し高めるため、多彩な文化財の保護と活用を推進することができた。その結果、史跡来訪者や講演会等の参加者増などの成果を上げることができた。</p> <p>○調査活動及びソフト面の整備について、未刊乙訓郡誌活用調査では、「乙訓郡誌」の稿本調査を行い、未刊のまま埋もれていた貴重な叙述を現代の人々の利用に供することが可能となった。寺戸村庄屋文書調査では、膨大な古文書群の分類及び目録作成を完了させ、今後の活用に向けた基礎を整えることができた。歴史資源調査では、向日市に関する歴史資源を整理し、活用に必要な環境を整備することができた。長岡宮跡牛車わだち跡模型の3D計測では、最新のデジタル技術により貴重な模型を精密に計測し、その成果を写真パネルや映像番組などの形で活用することができた。常設展示紹介番組制作では、映像を通じて来館者に長岡宮を中心とする向日市の歴史、文化を分かりやすく伝え、向日市をより身近に、また、より魅力的に感じてもらう環境を整えることができた。</p> <p>○市民活動の推進について、ボランティアの会は、常設展示の個別案内、団体見学対応、夏休み子ども歴史教室及び古代佩飾品ワークショップの補助、収蔵資料の整理・清掃、民具の展示など幅広い活動で資料館運営の支援を行った。</p> <p>むこうまち歴史サークルの活動拠点として資料館研修室を提供し、活発な活動を支援することができた。</p> <p>【課題】</p> <p>○本市の特色ある歴史・文化資源は、市内外への認知度が必ずしも十分ではない。</p> <p>このため、歴史・文化資源を地域の歩みを物語る「宝」として、「後世に残したい」という思いを市民の間で共有されるよう、広くその価値を高めるため、多彩できめ細やかな保護と活用、情報の発信を実施していく必要がある。</p> <p>○調査活動及びソフト面の整備について、未刊乙訓郡誌活用調査、寺戸村庄屋文書調査及び歴史資源調査の成果を活かし、より詳細に調査・研究を進めるとともに、引き続き潜在的歴史資源の発見・保存・活用を図っていく必要がある。ソフト面の整備においては、分かりや</p>	

すく視覚に訴えるメディアとして映像番組が有効な手段の一つと考えられることから、長岡宮跡牛車わだち跡模型3D計測や常設展示紹介番組制作の成果を基に、映像の視覚効果や投影場所を工夫したり、新たな映像番組を制作したりするなど、今後も改良を重ねていく必要がある。

○市民活動の推進について、ボランティアの会の会員数はやや減少傾向にある。様々な機会を通じて加入を呼びかけ、新規会員の増加に努める必要がある。

歴史サークル会員の高齢化が進んでおり、会員数も少しずつ減少してきている。自主的な運営が基本であるが、学習の参考となるような資料の提供や、ボランティアの会の視察研修で定員に余裕がある場合はサークル会員にも参加を呼びかけるなど、資料館としてできる範囲の支援を行い、市民活動の充実を図る必要がある。

外部評価委員評価及び意見等

○市内の有形、無形文化財等を活用し、市の事業と連携した取組は、長岡宮跡をはじめ、地域の特色ある歴史・文化遺跡が市内にあることの認知度を高め、大きな効果があったと評価できる。

また、小中学校と連携し、長岡京について児童生徒が興味を抱く内容で学ぶ機会を設けるとともに、その授業を行う教員にも長岡京についての知識を養う機会の提供に取り組んでいることは評価できる。

今後も市の観光部署等と連携し、多彩な事業を行うよう努めてほしい。